



2025年2月19日

各 位

会 社 名 F I G 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 村 井 雄 司
(コード：4392 東証プライム 福証)
問 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員 岐 部 和 久
(TEL. 097-576-8730)

特別損失（投資有価証券評価損）の計上に関するお知らせ

当社は、2024年12月期において、特別損失（投資有価証券評価損）を計上しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失（投資有価証券評価損）の計上について

当社は、GTP型AGV（棚搬送ロボット）を展開するロボットベンチャーの株式会社匠（福岡県大野城市、以下「匠社」）が発行する転換社債型新株予約権付社債（以下「CB」）1,693百万円を引き受けしております。

この度、2024年12月期の決算において、監査法人より匠社の発行するCB評価については会計基準と照らし合わせて匠社の事業計画をより保守的に見積もる必要がある旨の打診を受けました。監査法人と認識合わせを行った結果、匠社がここ数年で筋肉質な経営へと大きく変化して成長軌道に乗ってきているため、匠社とのロボット事業戦略に変更の必要はないものの、ロボット先行開発を進める匠社の財務基盤を考慮し、CB評価については指摘を踏まえて見直しを行うことにしました。

その結果、CB全額について投資有価証券評価損1,693百万を特別損失に計上いたしました。

2. 匠社との資本業務提携の継続について

本件特別損失（投資有価証券評価損）の計上は、2022年より続く匠社との資本業務提携に何ら影響を及ぼすものではありません。工場や倉庫・物流などの自動化向け市場を開拓する上で、当社グループのAMRや自動化装置に加えて匠社のAGVは中期経営計画におけるロボット事業戦略上欠かせない製品であり、匠社のロボットは大手自動車メーカーの製造現場に導入されるなど着実に実績を増やしております。

引き続き匠社との連携を強化して自動化向け市場開拓をすすめ、純国産のGTP型AGVで国内No.1メーカーを目指してまいります。

また、本件特別損失（投資有価証券評価損）の計上にて、中長期的な視点では将来の負担が軽減されるため、資本効率の向上とともに匠社との関係強化やロボット事業拡大のスピードを上げるための様々な検討をすすめてまいります。

今後、匠社との関係強化など、新たに開示すべき事項が発生しましたら、速やかにお知らせいたします。

3. 今後の見通し

本件につきましては、本日公表の「2024年12月期決算短信[日本基準]（連結）」に反映しております。

以 上